

～ Smile いっぱい！かがやく湯江っ子のために ～

SCRUM



島原市立湯江小学校
学校だより No.11

令和6年7月8日(月)

文責：校長 大槻浩二

水泳学習が始まりました！

子どもたちが楽しみにしていた水泳学習が始まりました。楽しみに待っていた子どもたちは大喜びです。

水泳は、子どもたちにとって、とても楽しい学習ですが、正しい方法で行わなければ命にかかわります。水泳の心得や約束事についての指導をきちんと行いながら、安全で楽しい学習になるようにします。各ご家庭でも毎日の健康観察をよろしくお願いします。

湯江小学校は、有明プールにバスで出かけます。室内温水プールですので天候に左右されません。ですから、プールが割り当てられた日は、水泳用具など忘れ物がないようにお子様と一緒に確認をお願いします。



夢を叶えるために「自分を信じる!!!」(夢の教室)

7月4日(木)、5年生は「夢の教室」を行いました。熊本県出身の元Jリーガー(ヴィッセル神戸) 田中英雄さんを「ユメセンセイ」として、たくさんの学びができました。

体育館では、デモンストレーションとして子どもたちとサッカーのパスをしてもらった後、みんなで協力するゲームを行いました。その後、教室では、競技を始め、プロサッカー選手としてデビューするまでの道のりを成功や失敗も含め詳しく話していただきました。

特に印象に残ったのは、「夢を叶えるためには『自分を信じる!!!』こと」。たくさんの経験を積むたびに自分を信じることの大切さを話していただきました。子どもたちも自分の夢を堂々と発表しました！



アンケートご協力をお願いします

9月に実施する「家庭教育学級の参加確認アンケート」を安心安全メールで送っています。

また、校長会よりメディアに関するアンケートを文書配布しています。ご協力願います！

「宿題忘れ〇」をめざして

今年度の重点取組の一つに「宿題忘れ〇」があります。宿題は、学習内容の定着など、子どもたちの学力保障のために教師が意図的に与えています。授業で学んだ内容を定着させる、深める、広げる、予習をするなど、様々な目的があります。

しかしながら「宿題忘れ〇」が続かないのが現状であり、担任も頭を悩ませています。残念ながら、「宿題忘れ」は

特定の児童に固定化されています。家庭での学習習慣を定着させるためには、ご家庭の協力が必要です。特に低学年では、内容の見取りや声掛けが、子どもの励みとなります。

そもそも、「宿題は、何のためにやるか？」その意味を考えてみましょう。

① 学力を定着・向上させる

宿題は、授業で習ったことを反復して、自分の力で取り組んでみることで学力を定着させることができます。ベネッセ教育総合研究所による調査では、成績の下位層と上位層で平日 1 日あたりの平均勉強時間に約 30 分の差があることが明らかになっています。

② 物事を継続する力をつける

宿題をやる意味は、勉強面だけではなくありません。毎日家庭で勉強を継続する習慣をつけることで、物事を継続する力を身につけることにもつながります。何かを継続する力は、社会人になっても求められる力です。毎日の宿題を通じて、一生に役立つ力を養うことが期待できます。

③ 自発的な行動力をつける

先のも述べましたが、「習慣化」のためには、「親の見取り」が大切です。しかし、実際に宿題に取り組むのは子ども自身です。自ら宿題に取り組む習慣をつけることで、自主的に行動する力を身につけることができます。

④ 学ぶ楽しみを知る

取得した知識をもって自分の力で問題を解くことで「自分でできた!」という小さな成功体験を積み重ね、学ぶことの楽しさを見出し、自信をつけることにつながります。



宿題忘れの影響

学力以外にも様々な影響が生まれます。

① 信頼を損なう

宿題は、全員に同じように課せられています。課題をきちんと果たさないことで、子どもの感情に「ずるい」といった不満が生じ、不要なトラブルになります。大人の社会でも同じですね。与えられたことを果たさない、継続できないことでは信頼を失います。

② 周りに迷惑をかける

宿題を忘れた場合、昼休みなどを活用してやり遂げさせます。そのことで、委員会や学級で与えられた仕事ができず、学級・学校全体にも影響を及ぼすことがあります。

③ 本来の昼休みの過ごし方ができない

友だちや学級全体での遊びに参加できません。課題を果たすまで、指導することで、教師にとっても貴重な昼休みを失います。

* 異様な暑さが続いています。下校時は、一番暑くなる時間帯です。登下校は、帽子をかぶるように指導していますが、ご家庭でも、家を出る前に声掛けをお願いします。

